

# 茂原市ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)について

「ハートフルフェスタ」は、ハートフルフェスタ実行委員会が企画する男女共同参画社会づくりに関する意識の定着を図る催しで、毎年1～2回実施しています。

## ◆ ハートフルフェスタ実行委員会

男女共同参画社会づくりの推進には、市民一人ひとりの意識改革が必要です。

この課題に市民の皆さんとともに取り組むため、「茂原市ハートフルフェスタ実行委員会」の委員を公募しました。現在、第6期15名の委員が地域とのパイプ役となり、男女共同参画に係る講演や講座などの企画立案や広報などの活動を通して、「男女共同参画のまちもばら」の実現を目指しています。委員が中心となり企画・運営を行っているものは以下のとおりです。



## これまでのハートフルフェスタ実施内容

### 第1回 平成23年10月22日(土)【参加者 112名】

- ・ジャズコンサート Swing Vivo
- ・基調講演会「心豊かにいきいきと 私らしく・あなたらしく生きるために」
- ・講師 松田敏子氏(千葉家庭裁判所調停委員・参与員、ちば菜の花会世話人代表)
- ・パネル・ディスカッション(公開座談会)「ともに輝く地域づくり～いっしょに描こう これからの協働と市民参画」

### 第2回 平成24年3月24日(土)【参加者 120名】

- ・講談「ハンサムウーマン新島八重」・演者 講談師「渥美右桜左桜」&「渥美矢梅」
- ・講演会「誰もが輝いて生きるために」・講師 渥美雅子氏(弁護士)

### 第3回 平成25年2月3日(日)【参加者 93名】

- ・バスクラリネット・アンサンブル ラス・クラリネーテス
- ・パネル・ディスカッション(男女共同参画懇談会)「家庭・そして地域での共同参画」
- ・コメンテーター 小泉直美氏(千葉県男女共同参画課企画調整室長)・パネラー 一般市民各世代男女7名

### 第4回 平成26年2月1日(土)【参加者 91名(男19名、女72名)】

- ・講演会「大規模災害に備えて～男女の視点で見る防災対策～」
- ・ワークショップ 災害時便利グッズの作成(ビニール袋で作る防寒着、ほっとタオル)
- ・講師 坂内美佐子氏(SL災害ボランティアネットワーク理事)

### 第5回 平成26年12月13日(土)【参加者 65名(男23名、女42名) 託児利用者 3名】

- ・講演会「茂原市地域防災計画について」・講師 大橋康博主査(茂原市防災対策室)
- ・講演会「大規模災害に備えて～男女の視点で見る防災対策」
- ・ワークショップ 災害時便利グッズの作成(ビニール袋で作る防寒着、ダンボールトイレ)
- ・講師 坂内美佐子氏(SL災害ボランティアネットワーク理事)

### 第6回 平成28年1月23日(土)【参加者 680名(男260名、女420名) 託児利用者 9名】

- ・講演会「男女ともにより短時間労働で楽しく暮らす方法を考える」
- ・講師 勝間和代氏(経済評論家・内閣府男女共同参画会議議員)

### 第7回 平成28年3月26日(土)【参加者 130名(男36名、女94名)】

- ・講演会「パートナー文化を！～女と男の 厳しくとも やさしい関係～」
- ・講師:菅野典雄氏(福島県飯舘村村長)

### 第8回 平成29年2月4日(土)【参加者 135名(男40名、女92名)】

- ・講演会「女性も男性もいきいき暮らせる街 茂原～男女共同参画の実現を目指して～」
- ・講師 堂本暁子氏(前千葉県知事)

# ハートフルフェスタ実施内容

## 前ページからのつづき



### 第9回 平成30年1月27日(土)【参加者 165名(男33名、女132名)】

介護現場の最前線で長年にわたり活躍された坂下さん。実務経験に基づき、誰にでも訪れる「老い」についてどう考えるか、美しく年齢を重ね、自分らしく生きてゆくことについて、お話を伺いました。

・講演会「老いの旅路～今、あなたの前になにが見えますか？～」

・講師 坂下晴美氏

### 第10回 平成30年3月24日(土)【参加者 109名(男23名、女86名)】

親業訓練の講師として、またスクールカウンセラーとしても実績のある内田さん。家族・職場・地域等、様々な人間関係で活用できる、相手の気持ちがわかる聞き方・自分の気持ちが伝わる話し方についてお話を伺いました。

・講演会「信頼関係を築くコミュニケーションのコツ～楽しい人生を送るために、使っちゃいけない？12の言葉～」

・講師 内田智代氏(親業訓練シニアインストラクター)

### 第11回 平成30年10月28日(日)【参加者 79名(男15名、女64名)】

TBS記者から参議院議員、千葉県知事と多方面に渡り活躍されたご経験を踏まえ、少子高齢化、災害・防災、女子刑務所問題、環境問題等、様々な社会問題について、お話を伺いました。

・講演会「男女共同参画と我が人生～堂本暁子さんと考える社会問題のいま～」

・講師 堂本暁子氏(前千葉県知事)

### 第12回 令和元年10月20日(日)【参加者 76名(男28名、女48名) 託児利用者 3名】

地域行政や防災、NPO 法人の研究を専門とする萩原氏。災害に強い地域をつくるための、人々の助け合い(共助)についてお話を伺いました。

・講演会「共助でつくる災害に強い地域づくり」

・講師 萩原なつ子氏(立教大学教授)

### 第13回 令和2年1月18日(土)【参加者 195名(男69名、女126名)】

テレビやラジオでも活躍中の千葉住職。地球の歴史を24時間に例え、発展著しい人類の歴史に敬意を示すとともに、急激に変容していく社会の中で私たちはどう生きるべきかお話しくださいました。

・講演会「現代に活かすブツダの知恵～『七不衰法』と人権～」

・講師 千葉公慈氏(東北福祉大学長、曹洞宗宝林寺住職)

ブツダが約2,500年前に説いた「七不衰法」とは人間社会が減びないための7要件で、民主主義や立法主義、教育の重視や伝統・文化の遵守、人権問題としての女性・子どもへの暴力の禁止などから成り、現代にも通じる社会規範であることを教えてもらいました。そして、私たち一人ひとりにできることとして、宮崎奕保禅師(永平寺第78世貫首)やマザー・テレサの言葉を引用し、“本物”の真似でいいので、それを続けることでいずれ自分自身が“本物”になっていくことや、日々の小さな行いを整えていくことが理想的な心を生み出し、よりよい社会の未来を作ることへ繋がっていくのだとお話しくださいました。

### 第14回 令和4年10月23日(日)【参加者 40名(男7名、女33名)】

教育学と女性学を専門とする内海崎氏。ジェンダーの視点から4曲の歌詞を分析し、その時代を支えた価値観やモノの見方について、ご自宅からリモートでお話しくださいました。

・講演会「男女共同参画の実現～アンコンシャス・バイアスの視点から～」

・講師 内海崎貴子氏(川村学園女子大学教授)

最近耳にするようになった言葉「アンコンシャス・バイアス」とは、「無意識の思い込み」のことで、代表的なものとして「男性は仕事、女性は家事育児」といった思い込みがあります。

そのような思い込みがその時代の曲の歌詞に反映されていると、昭和54年から現在までの代表的な4曲を取り上げ、男性優位から男女横並びの家庭観への変容、同性同士のカップルや結婚にとらわれない人間関係の登場などについてお話しくださいました。

